

令和6年度 第1回学校運営協議会

令和6年4月26日(金)

10:00～11:00

朝霞市立朝霞第九小学校

家庭科室

【司会:教頭 記録:主幹教諭】

次 第

- 1 開会のことば
- 2 学校長挨拶
- 3 任命書交付 朝霞市教育委員会 (校長より手交)
- 4 自己紹介
- 5 規則等の確認
 - (1) 朝霞市学校運営協議会規則
 - (2) 朝霞市立朝霞第九小学校運営協議会傍聴要領 確認
- 6 会長・副会長の承認 (朝霞市学校運営協議会規則第9条)
会 長 (内田 明)
副会長 (藤井 文雄)
- 7 学校運営に関する基本的な方針の説明と承認 (同規則第4条)
- 8 その他
- 9 今後の予定
 - ・第2回 令和6年 6月 8日 (土) 学校公開参観 9:30
運営協議会 10:00
 - ・第3回 令和6年10月30日 (水) 学校公開参観 9:30
運営協議会 10:00
 - ・第4回 令和7年 1月29日 (水) 運営協議会 10:00
 - ・第5回 令和7年 2月28日 (金) 6年生を送る会参観 8:15
運営協議会 9:30
- 10 閉会のことば

学校経営方針について

(1) はじめに

私たちは、何よりも子供への対応を第一に考え、人間として子供に規範を示す教師、子供を感化する教師であり続けたい。**最大の教育環境は教師そのものである。**

また、一人一人の子供のよさをさらに伸ばす教育、希望を持って学び続ける子供が育つ教育、一人一人の子供の居場所のある教育など、温かく丁寧な教育を目指したい。

教育は、教師の深い愛情と情熱、教えることへの強い責任をもってこそ達成される。教師一人一人の教育観や個性は尊重し、大切にされるべきであるが、その一方で、学校は経営体であり組織体である。朝霞第九小学校の組織としての力を十分結集・発揮する中で、学校力を向上し、特色ある学校を創り上げていく。

(2) 学校教育目標及び目指す児童像

心豊かでたくましい人間の育成

《知》 **すすんで学ぶ子** 《徳》 **思いやりのある子** 《体》 **たくましい子**
＜目指す児童像＞

- 自ら課題を見付け、その解決に向けて試行錯誤し進んで学ぶ子
- いじめを許さず、人権感覚を身に付けた思いやりのある子
- 基本的な生活習慣を身に付け、体力の向上を目指すたくましい子
- 夢や志をもち、その実現に向け努力できる子

(3) 目指す学校像

「元気の挨拶と明るい笑顔で輝きのある学校」

- ・教職員が組織的に教育活動を推進する学校
- ・安全・安心な学校
- ・コミュニティスクールとして、地域とともにある学校

(4) 目指す教師像

- 子供たちの将来を預かる重大な責務があることを自覚し、絶えず高い倫理観と使命感を持ち、朝霞九小の教職員であるという誇りもつ教職員
- 主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす教職員
- 多様なニーズに応えられる資質や能力を身に付け、高い指導力（授業と生徒指導が上手い）をもった教職員
- フットワークよく率先垂範できる教職員
- 学級間・学年間・低中高ブロック間・学校間・学校と家庭地域間のネットワークを構築し、フルに活用する教職員
- フットワーク・ネットワークを生かし、チームワークのある職場づくりを行う教職員
- ◎**やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、褒めてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。**を体現できる教職員

(5) 学校経営方針

生きる力を育むため、確かな学力・豊かな心・健やかな体、自立する力の育成に向け、創意工夫した教育を推進する。また、学校の組織力を結集し、保護者や地域から信頼される特色ある学校づくりを推進する。

そのために、教職員が一人一人の子供の小さな変容をも見逃さず、子供が身に付けた知識・技能等、またそれらを活用して伸ばさせた思考力・判断力・表現力等の能力に対し、具体的に褒め、認め、励ます指導を充実していく。また、「**集団の中で学ぶ**」という学校教育の特性を生かし、**コミュニケーション能力の育成**とともに、周囲の子供から認められる信頼される学級・学年・学校づくりを通して、一人一人の子供に安心感や自信、充実感、自尊感情、さらに将来への夢や希望を持たせる教育を目指す。

令和6年度の学校経営方針

学ぶ喜びと感動があふれ、地域から応援してもらえる朝霞九小 ～チーム朝九小で、未来を育てる～

- (1) 現在の教育の重要課題を重点化し、不易と流行（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して）の視点から教育活動を推進し、**教育活動全体を通じてウェルビーイングの向上を目指す。**
- (2) 学校教育目標の具現化に向けた各種教育活動や取組は、目標やねらい等原点に立ち返って見直し・改善を図り、安全対策を考慮しながら実践をする。
- (3) **社会を生き抜く力**（確かな学力、豊かな心、健やかな体、自立する力）を身に付けた児童を育成する。
- (4) 地域の宝である子供を真ん中に据え、コミュニティスクールとして、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開する「**地域とともにある学校**」を目指す。
- (5) 「安心・安全な学校」づくりを推進するとともに、「**子供たちが通いたい学校**」「**保護者が通わせたい学校**」・「**教職員が働きたい学校**」づくりを推進する。
- (6) ライフステージに応じた教職員の資質・能力の向上に努める。また、風通しがよく、教職員一人一人が**居甲斐・やり甲斐・働き甲斐**のある職場づくりを進めるとともに働き方改革を推進する。

(6) 学校経営方針のポイント

6つの基本の方針に基づいて学校経営を進めるが、それぞれの方針の取組のポイントは以下のとおりである。

(1) について

- 令和6年度も「**学力の向上**」を最重要課題とする。各種学力調査等の結果を踏まえ、「確かな学力」の定着に向けた取組を行う。
- 「不易」にあたる「教育に関する3つの達成目標」の「学力」・「規律ある態度」・「体力」の定着とともに、「道徳性」や「伝統や文化、郷土を愛する態度」を身に付け、伸ばす教育を行う。
- 「流行」にあたる新学習指導要領で示された「**主体的、対話的で、深い学び**」の追求＝「**豊かな学び**」 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、授業改善を図る。

- 体育的活動を充実させ「たくましい子」の具現化を図る。
- 「いじめ、不登校への対応」や「多様なニーズへの対応」を通して、一人一人の児童に寄り添った教育を展開する。(インクルーシブ教育の視点に立ち、通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童へ、一人一人の教育的にニーズに応じた適切な教育を進め、特別支援教育の視点・ユニバーサルデザインの教育の充実を図る。)

(2) について

- 前年度の反省や振り返りを元に、課題があれば改善策を考え、それらを反映させた教育活動の計画立案をする。実施後、振り返りをし、次年度への改善点を示す。
- 目の前の児童をみて、どういう状況にあるかを「判断(評価)」(C)する。そして、その「評価」をもとに目指す児童像や目標に向かって、具体的な方策を「計画」(P)し、「実践」(D)する。実践する際には、改めて目の前の児童の状況を見て、取組の成果を「検証」(C)する。そして、それを元に、修正を加えたり、「改善策」(A)を考えたりする。こういった取組を、学校全体、そして各教室で日常的に展開していく。
- 各種教育活動の基本は、目標(ねらい)にある。したがって、その目標を達成するために戦略を立て、具体的な取組を考え、実践していく。
- 全ての教育活動は、子供のためにある。目の前の子供をどのように伸ばしていくか、できないところだけに目を向けるのではなく、少しでもできたこと・伸びたことを認め、そして褒めることで、自信をもたせていく。子供にプラスの評価を与えながら、自信を付けさせていくことで、自己肯定感、自己存在感をもてるようにする。

(3) について

- 学校応援団や地域、企業・NPO等の持っているコンテンツを効果的に教育課程に取り入れた「社会に開かれた教育課程」の編成を行う。**(カインズとの連携)**
- 児童の実態を踏まえ、課題を重点化し、それらを解決・改善するための「社会を生き抜く力」を身に付けさせるためのカリキュラムマネジメントを進める。
- 「道徳性を育成する」ための道徳科の授業改善を進めるとともに、「道徳科全体計画別葉」を基に、全教育活動を通して、校内環境の整備、道徳的判断力・心情・実践意欲・態度を育てる。

(4) について

- 「子供たちは、学校で学び、親の愛情によってはぐくまれ、地域の中で育つ。」という理念に基づき、学校・家庭・地域が一体となって教育活動を展開できるようにする。
- 学校と家庭、学校と地域の双方向の連携を強化し、共に理解し合い、共に手を携えて進められるようにする。そのために、学校公開の機会をつくったり、各種たよりやホームページの内容を充実させたりすることで、本校の教育活動を知ってもらう。
- 学校に対する信頼を得て、保護者・地域から応援してもらえる学校づくりをするために、「クイックレスポンス」を心がける。縦(管理職・各主任)と横(学年間・ブロック間・分掌間)の報告・連絡・相談を欠かさないようにする。
- 幼・保・小・中学校間の連携を強化し、取組内容を充実させていく。近隣の幼・保との連携を通して、「小1プロブレム」への対応や朝霞第二中学校との連携を通して、「中1ギャップ」の解消に向けて、具体的な策を講じていく。

(5) について

- 本校の増築工事とあずま南地区土地区画整理事工が始まっており、学校周辺道路の大型車の交通量が増加し、学校周辺の工場や残土置き場に入出入りする大型車の増加等、学校取り巻く環境が変化してきている。交通事故防止は今年度も重要課題の1つである。
- 交通事故防止をはじめ、不審者遭遇への対応、災害時の避難行動等において、自分の身は自分で守る子供を育成していくことが喫緊の課題である。
- 開校43年目を迎え、施設・設備の課題も見られる。また、校舎の増築工事も始まった。子供の安全を第一優先に、日常や定期の安全点検を行い、施設・設備による事故の防止及び安全管理を進める。
- 学校隣接地に住宅やマンションが建設され、児童増が見込まれる状況や35人学級の実施により教室数の不足が見込まれ、昨年度から増築工事が始まった。朝霞市教育委員会と連携し無事故とスムーズな工事で完成を目指す。
- 本校は、河川に囲まれた場所に立地し、朝霞市防災マップの洪水浸水想定区域内にある。水害時を除く、災害発生時の地域防災拠点の1つである。『あさか防災ガイド&マップ』の周知をするとともに、校内の防災マニュアルの見直しを図る。

(6) について

- タイムカードの導入、退勤予定時刻の表示、自動応答機能付電話の導入等により、在校時間が減少傾向にある。引き続き、教職員一人一人の働き方を見直し、勤務時間の削減や負担軽減に向けた取組を進める。また、「ふれあいデー」「ノー残業デー」を設け、積極的な定時退勤や学期中の計画的な年次休暇取得を奨励していく。
- 本校からは教職員事故を出さない、という決意の下、教職員の事故防止に向けた取組を定期・臨時で行う。
- ライフステージに応じた教職員の資質の向上の場をつくる。
- 校務支援員を活用し、事務を削減するとともに休憩時間を確保する。
- 会議を精選するとともに、プレゼンテーション力を向上させる。

本年度の重点

令和5年度学校評価

【自己評価B】

「学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。」

「学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。」

【保護者評価 80%以下 (そう思う + ややそう思う)】

「子どもは、学校目標『すすんで学ぶ子』に育っている」

「学校は、子どもの興味や意欲、個に応じた指導をしていると思う」

「学校は、子どもの不安や悩みの相談にのってくれていると思う」

【児童アンケート】

「好き嫌いなく、残さず食べている」 →	そう思わない	9%
	あまりそう思わない	19%
「自分で考えたり、行動したりする力がついている」 →	そう思わない	4%
	あまりそう思わない	12%
「運動する力がついてきている」 →	そう思わない	4%
	あまりそう思わない	11%

1 学年・学級経営の充実

- ・学年、学級経営計画の立案と発達段階を踏まえた計画的な指導に努める。
- ・児童一人一人が生かされ、活躍できる学年・学級経営を進める。
(児童理解の充実、自治的活動の充実)
- ・非認知能力の育成を図る。
 1. 子どもの興味関心を引き出す環境を作る
 2. 子供が成功したら褒め、失敗しても責めない

2 学習指導の充実

- ・「主体的・対話的で深い学び」の授業実践を推進する。
(対話：考えを伝え合うことによって新たな考えが生まれる・より考えが深まる)
- ・児童一人一人の学習達成状況を把握し、評価を生かした学習指導を推進する。
- ・読書活動を推進する。(朝読書、図書室の活用)

3 生徒指導・教育相談の充実

- ・児童一人一人への理解を深め、その自己実現を支援するとともに基本的な生活習慣・規律ある態度を身に付けさせる。
- ・日常の声掛け、教職員の率先垂範(共通理解・共通行動)により規範意識の高揚を図る。
- ・カウンセリングの理論と技法を身に付け、カウンセリングマインドを生かした教育活動を推進する。

4 道徳教育・人権教育・特別支援教育の充実

- ・道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を育成する道徳教育の充実を図る。
(「自分がされて嫌なことは他人にしない」の指導を徹底する。)
- ・児童一人一人の人権意識を高め、他人の痛みを共有できる豊かな人権感覚を育む。
- ・個別の指導計画の作成と個に応じた指導の充実を努める。

5 体育指導の充実

- ・健康で安全な生活を主体的に実践できる児童の育成に努める。
- ・児童の体力向上を目指し、運動の楽しさを味わわせる体育授業実践を推進する。
- ・積極的に外遊びを奨励し、体力向上を図る。(運動機会の保障)

6 心なごむ教育環境の整備

- ・児童の作品を多く掲示するなど、掲示教育を充実させる。(掲示スペースの有効活用)
- ・清掃、美化活動を学校全体で推進し、きれいな学校づくりに努める。(もくもく清掃)
- ・四季を彩る草花等の生育を通し、豊かな心を育てる。(カインズ、学校応援団との連携)

7 校内研修の充実

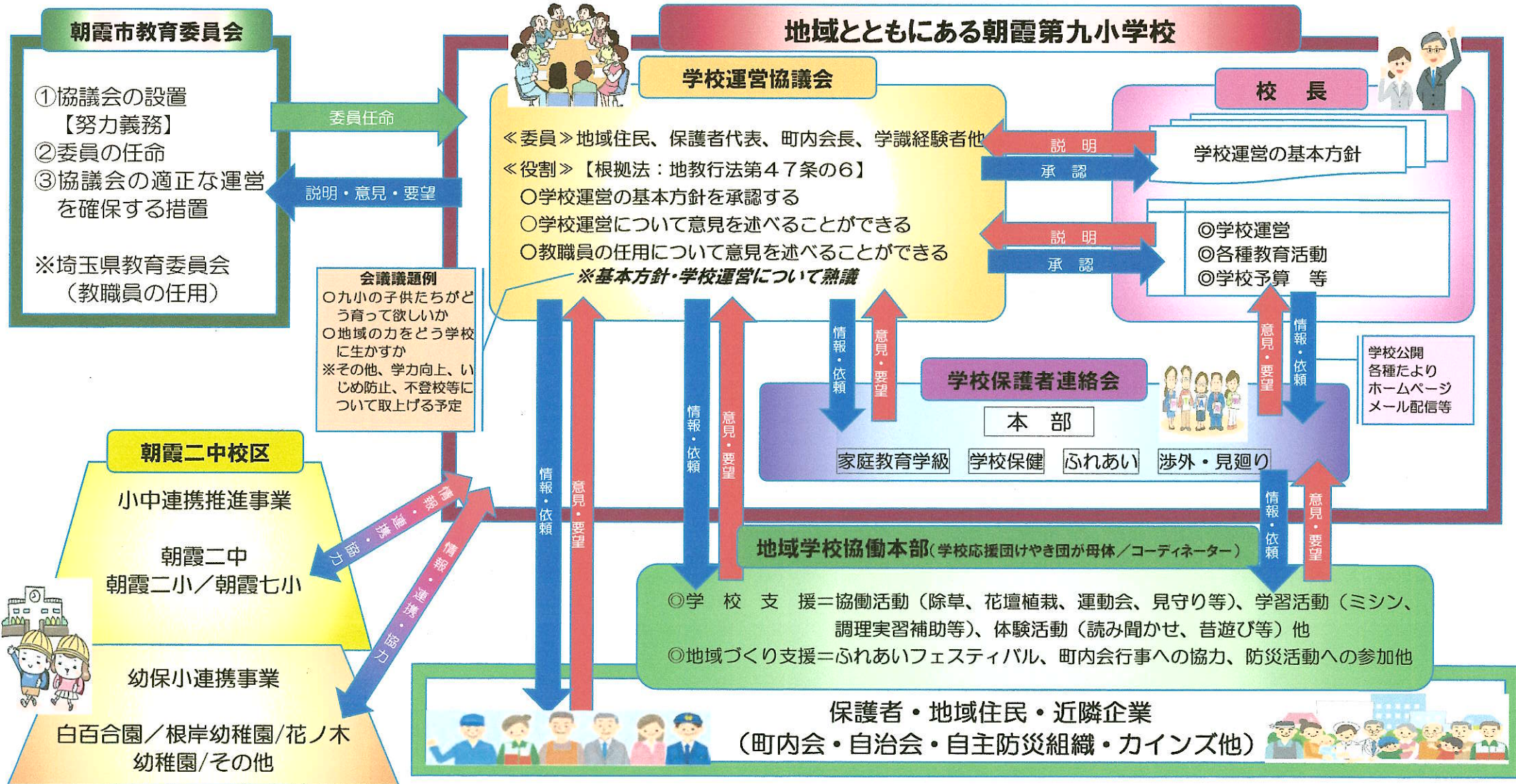
- ・学校課題研修を積極的に推進し、教職員の資質向上を図る。

令和6年度 朝霞市立朝霞第九小学校 コミュニティ・スクール構想

学校教育目標：心豊かで たくましい人間の育成

目指す学校像：元氣な挨拶と 明るい笑顔で 輝きのある学校

- ◎育てたい児童像と目指すべき教育のビジョンを保護者・地域と学校で共有し、具現化のためにともに協働していくしくみを構築します。
- ◎保護者・地域住民と学校が顔が見える関係となり、保護者・地域住民の理解と協力を得た学校運営を実現します。
- ◎学校が地域の拠り所となり、学校を中心とした地域ネットワークを形成します。地域の防犯、防災体制も強化できます。





令和6年度
朝霞市立朝霞第九小学校
ランドデザイン

学校教育目標

心豊かでたくましい人間の育成

・すすんで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・たくましい子



目指す児童像

- 自ら課題を見付け、その解決に向けて試行錯誤し**進んで学ぶ子**
- いじめを許さず、人権感覚を身に付けけた**思いやりのある子**
- 基本的な生活習慣を身に付け、体力の向上を目指す**たくましい子**
- 夢や志を持ち、その実現に向け努力できる子

- ・朝霞市教育振興基本計画
「心豊かに生きる力をはぐくむ
朝霞の教育」
- ・保護者、地域の方の願い
- ・地域、児童の実態・社会の変化

- ・日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の関係法令
- ・学習指導要領
- ・埼玉県教育大綱・第三期埼玉県教育振興基本計画
『豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育』
- ・埼玉県指導の重点・努力点

目指す教師像

高い倫理観と使命感を持つ教師
主体的な学びを支援する伴走者
多様なニーズに応え高い指導力をもった教師
フットワークよく率先垂範できる教師
ネットワークを構築し活用する教師
チームワークのある職場づくりを行う教師

元気な挨拶と明るい笑顔で輝きのある学校

- 組織的に教育活動を推進
- 安全・安心
- 地域とともに

学ぶ喜びと感動があふれ、地域から応援してもらえる朝霞九小 ～チーム朝九小で、未来を育てる～

学校経営基本方針

- 1 現在の教育の課題を重点化し、不易と流行（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して）の視点から教育活動を推進し**教育活動全体を通じてウェルビーイングの向上を目指す。**
- 2 学校教育目標の具現化に向け、各種活動や取組は目標やねらいに立ち返って見直し・改善を図り、安全対策を考慮しながら実践します。
- 3 社会を生き抜く力（確かな学力、豊かな心、健やかな体、自立する力）を身に付けた児童を育成します。
- 4 地域の宝である子供を真ん中に据え、コミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域が一体となって教育活動を展開する「地域とともにある学校」を目指します。
- 5 「安心・安全な学校」、「子供たちが通いたい学校」・「保護者が通わせたい学校」・「教職員が働きたい学校」づくりを推進します。
- 6 ライフステージに応じた教職員の資質・能力の向上に努めるとともに、風通しがよく、教職員にとって居甲斐・やり甲斐・働き甲斐のある職場づくりを進めます。

今	年	度	の	重	点	！
<p>学年・学級経営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画の立案と発達段階を踏まえた計画的な指導 ・一人一人が生かされ、活躍できる学年・学級経営 ・非認知能力の育成 	<p>学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」の実践 ・「主体的・対話的で深い学び」の授業実践を推進 ・一人一人の学習状況を把握し、評価をいかした学習指導を推進 ・読書活動の推進 	<p>生徒指導・教育相談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣、規律ある態度の育成 ・深い児童理解と自己実現の支援 ・教職員の率先垂範による規範意識の高揚 ・カウンセリングマインドを生かした教育活動の推進 	<p>道徳教育・人権教育・特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実、人権意識の高揚 ・個別の指導計画の作成と個に応じた指導の充実 	<p>体育指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な生活を主体的に実践できる児童の育成 ・運動の楽しさを味わわせ体力を高める体育授業実践 ・運動機会の保障 	<p>心なごむ教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃、美化活動を推進、綺麗な学校づくり ・掲示教育の充実 ・四季を彩る草花等の生育による豊かな心の育成 	<p>校内研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校課題研修の推進 ・教職員の資質向上 ・特色ある教育活動の一層の推進 ・人権教育、外国語教育、情報教育等の研修